



日本学術会議を解体し、政府が統制する特殊法人とする法案が国会で審議されています。学術会議は**憲法 23 条「学問の自由」を支える**ために、日本の学者を代表する機関として 1949 年に結成され、76 年間政府から独立して活動してきました。それを解体する法案に対し、学術会議は抜本的修正を求めています。学術を尊重するのであれば、熟議を尽くし、学術界が納得する合意を創り出すべきです。しかも今、日本の科学・技術力の低下が顕著です。それは国立大学法人化がもたらしたものです。学術会議法人化は同じ轍を踏まないでしょうか。次世代のためにも、学術の在り方について社会全体で考える時です。この法案の強行を許さず**廃案にするために 5 月 7 日・8 日の国会前「人間の鎖」への参加**を訴えます。

「任命拒否」を正当化し、排除を制度化する法案！

5 年前の「任命拒否」(＝学術会議が推薦した会員のうち 6 名の任命を、当時の菅義偉首相が拒否するという「違法行為」)を覚えていますか？ これは明らかに**政府を批判する学者の排除**です。人事で官僚を恫喝しコントロールしてきた安倍・菅政権が学術に手を出したのです。しかし学術会議は屈しませんでした。そこで当時の下村自民党政調会長は「**防衛省の研究を認めないなら行政機関から外れるべきだ**」といい、12 月に自民党は学術会議法人化を提言しました。それがこの法案のもとです。政府を批判する学者を排除するために、任命以前の選考段階で介入するものです。

「独立性を高める法人化」というのはまやかし！

新法は国の機関である学術会議を特殊法人とするものです。一見、自由度が増すように見えますが、実は学術会議の活動全般を**首相任命の「監事」が監督し、内閣府に設置される「評価委員会」が評価する**など、学術会議を政府の管理・統制下に置くものです。

会員選定方針に関与する「選定助言委員会」や、「運営助言委員会」の設置（いずれも財界も含める）など、人事・運営全体への介入が強まり、**学術会議の独立性・自律性は完全に失われます**。とりわけ法人化の最初の会員を選ぶ選考委員にも首相の意向が反映する仕組みが作られます。

また今は国が負担すると定められている財政も、法人化されれば**政府が必要と認める金額しか補助しません**。政府を批判するような活動は資金面からも抑えられます。

日本学術会議「特殊法人化」法案に反対する学者・市民の会

学術会議の「特殊法人」化に反対する online 署名呼びかけ団体 他多数

事務局 大学の危機をのりこえ、明日を拓くフォーラム <https://chng.it/h5SRtCDBDk>

大学に軍事研究をさせるねらい！

学術会議は1950年と67年に「**戦争を目的とする科学の研究には絶対従わない**」と声明しました。2017年にも、上記声明を継承し、大学などで軍事研究を行なう新たな制度への慎重な対応を求める声明を出しました。それに激怒した軍拡派が学術会議つぶしを始めたのです。

とりわけ今、政権は米国との軍事的一体化を図り、また死の商人国家になるために、英伊との戦闘機共同開発やAIを組み込んだ最先端兵器開発に膨大な予算を投じています。他方で大学の予算を削り、研究費が枯渇する科学者を軍事研究に動員しようとしています。学術会議がなくなれば、個々の大学がどこまで抵抗できるでしょうか。

学問の統制⇒思想統制⇒戦争？

1933年、京都帝国大学の滝川幸辰教授はトルストイの「犯罪は国家の組織が悪いから出る」という言葉を紹介しただけで大学から追放されました（滝川事件）。それを機に大学の自治は破壊され、自由主義的思想や宗教などへ弾圧が広がり、人々は真実を知らされないまま37年に中国への侵略戦争が始まったのです。学問の統制を突破口に、思想、宗教、表現の自由を奪い、戦争へと突き進んだ歴史から今こそ学ばねばなりません。

ネット署名を広げてください <https://chng.it/h5SRtCDBDk>

多くの学協会が反対声明を出しています。下記でご覧いただけます。

<https://univforum.sakura.ne.jp/wordpress/scjinforporation2025/>



緊急・連続

人間の鎖 ヒューマンチェーンで

学術会議の独立を守ろう！

国会へ 国会へ 国会へ

集まろう！

チー 一万 人

リレートークします

ぜひ多数の参集を！
SNSで大拡散を！

主催：日本学術会議「特殊法人化」
法案に反対する学者・市民の会

緊急

5月7日(水)
1時～2時

5月8日(木)
3時～4時

5月9日(金)
国会前行動を予定
国会審議状況により
改めて提起します
衆議院第二議員会館前
最寄駅：東京メトロ
国会議事堂前駅
永田町駅